

看看連携企画事業が各地で開催されています

【しまだ看護つなぎ隊】と【藤の花かんかんネット】の活動をご紹介します。

【しまだ看護つなぎ隊】は人生会議のはじめの一歩～自分の大事にしたい気持ちを考え、伝えよう」と題して開催されました。

(株)リハライフサポート取締役副社長の小原智永先生がお父様の最期を伴走する中で得られた貴重なご体験をご講演くださいました。

当日は、市民の皆様と一緒に 414 カードで自分の気持ちを表現したり、ワークしながら島田市が作成の「もしもの安心ノート」の活用に繋げました。

「最期をどう迎えるか」より「今をどう生きて、生き抜くか」を考えさせられた時間でした。



【藤の花かんかんネット】は認知症当事者である松本先生のご講演を拝聴しました。

病気を受けて(病名が分かって安心したと)前向きに日常を過ごされている姿に、こちらが支えられました。

病名が分かると少なからず、「どうして自分はこうなってしまったんだ」と悲観することがありますが、松本



先生は「分かつて良かった」と「次に進んでいく一歩が出やすい」と捉えられていました。常に「自分に何ができるか」を追求していくことは、同時に周囲の理解も得やすいことを教えていただきました。



どんな状況下であったとしても自身の生き方を決めていくことは自分自身であり、周囲のサポートを受けやすくするのも自分自身ですね *写真は許可を得て掲載しています。